

R 7 学校関係者評価 結果 2月20日実施 学校評議員（5名）

No.	項目	A	B	C	D	平均
1	学校教育目標、目指す児童像、目指す教師像は適切である	4	1	0	0	3.8
2	安心・安全で楽しい学校生活が送れるよう児童一人一人を大切にされた教育活動を行っている	4	1	0	0	3.8
3	「かしこい子」を踏まえた教育活動を行っている	2	3	0	0	3.4
4	「やさしい子」を踏まえた教育活動を行っている	5	0	0	0	4.0
5	「たくましい子」を踏まえた教育活動を行っている	2	3	0	0	3.4
6	地域と連携し、信頼される開かれた学校づくりを行っている	4	1	0	0	3.8
7	保護者や児童アンケート、教職員による評価の結果を踏まえた経営改善を行っている	4	1	0	0	3.8
8	保護者や児童アンケート、教職員による評価の結果を踏まえた次年度へ向けた改善方策（案）は適切である	5	0	0	0	4.0

4→そう思う 3→ややそう思う 2→あまりそう思わない 1→そう思わない

◆アンケート自由記述◆

特になし

<協議・ご意見>

子供の教育も大切だが、今は親の教育をしていくことも必要となっている。理不尽なことを言う親も周りにはいる。学校として対応するのは大変であると思う。

学校では、子どもたちのためにいろいろな取組をしていることに感銘を受ける。

SNSの問題は、子どもたちだけではなく、大人もある。小学生は家庭環境が大きく左右する。

JRC活動を通して、地域とのつながりを深めることができている。

<今後の改善方策>

次年度に向け、以下のような取り組みをしていきたいと思えます。

「かしこい子」については、児童が自らの課題をもとに主体的に学びに向かえるように、個に応じた学習が進められるよう丁寧な指導を行うとともに、家庭と連携し、今年度取り組んだ家庭学習週間を継続することで自主学習の充実に努めます。また、「本に親しむ」活動の充実に向け、今後は、読み聞かせボランティアによる学年の幅を広げたり、いすみ司書と連携し、読書の楽しさやよさを味わわせられたりするよう計画していきます。また、図書室の

蔵書数については、市教育委員会の協力を得て、5か年計画で4000冊の増冊を予定しています。児童の興味関心の高い本を優先して購入していきます。

「やさしい子」については、年度当初に比べると、縦割り班活動の取組から異学年交流を深めることで、思いやりの心が育ってきています。また、委員会活動による朝の挨拶運動を通して、挨拶の習慣が少しずつ身につけてきています。心のこもったコミュニケーションがとれるよう、引き続き指導していきます。

「たくましい子」については、今年度取り組んだ業間休みの「夷隅スポーツフェスタ」をブラッシュアップさせ、さらなる体力の向上に努めます。また、心身ともに健康で過ごせるよう引き続きいつでも相談でき、安心して過ごせる環境づくりに努めます。

「安心・安全で開かれた学校づくり」については、保護者、地域の協力をいただきながら、安全な登下校、整備された教育環境を維持していきます。

ICT教育環境の充実に伴い、情報モラル教室を毎年行っていきます。さらに、地域の特性をいかした学習や教育活動の推進とともに、積極的発信により保護者・地域の皆様と情報を共有し、児童一人一人が安心して楽しい学校生活を送れるよう努めます。

教職員の働き方改革と部活動については、今後、児童・保護者とともに部活動のあり方を考えていきたいと思えます。